

矢吹飛行場 変遷

各種資料より

- 1934 昭和9・10・27
10・28 偵察機3機 飛来
県納機 披露 報国号 海軍
愛国号 陸軍
- 1937 昭和12・5・23 陸軍飛行場として開場 開場式 9機飛来
- 1940 昭和15・8・25 熊谷飛行学校矢吹出張班
飛行場 東西1500m 南北600m
- のち 熊谷飛行学校矢吹分校
- 1943 昭和18・ ?
昭和18・7・10 熊谷飛行学校 矢吹教育隊
(施設報告書 陸軍省へ送付)
- 1945 昭和20・4・ ? 第51航空師団第6練習飛行隊矢吹教育隊
- ・特別攻撃隊(特攻隊)
昭和20・4・5 第八十振部隊 12名 知覧へ出発
知覧到着 4月18日
(桶川教育隊第七十九振部隊と同日)
4月23日 知覧より出撃 散華
- 米軍爆撃 7月16日
8月 9日
8月10日

しゆかい
種子

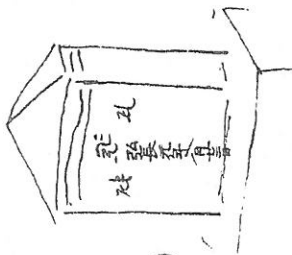
密教で仏菩薩または種々の事項を標示する梵字

※密教
大日如来の真言を説いた和真
添密を教法、真言宗の教旨

大吹町に所在する板碑の存在は非常に多く、大吹地区8、中畑地区41、三神地区60の計109基が存在する。これら石造供養塔等は、まだ知らぬ中世の歴史を秘めている。石造供養塔等は武家政權として鎌倉幕府が関東に開かれ関東武士団が全国の所領支配に移った頃から南北朝の動乱をはさみ室町時代から全国的に大々それとして消滅した中世の時代だけに存在したものである。

寺内阿彌陀堂供養塔

中央に阿彌陀如来の種子、側に観音菩薩、勢至菩薩が刻まれている。



弘長元年(1619)八月廿一日

法印有海が遷化した日

- 毘 (キリク) 阿彌陀如来
- 𑖀 (サ) 観音菩薩
- 𑖄 (サク) 勢至菩薩
- 𑖇 (ビク) 釈迦如来
- 𑖉 (アン) 普賢菩薩
- 𑖊 (マン) 文殊菩薩
- 𑖋 (メイ) 薬師如来
- 𑖌 (ア) 日光菩薩
- 𑖍 (シヤ) 月光菩薩
- 𑖎 (バン) 金剛界大日如来
- 𑖏 (バーク) 金剛界大日如来 (五点具足)
- 𑖐 (ア) 胎藏界大日如来
- 𑖑 (アーク) 胎藏界大日如来 (五点具足)
- 𑖒 (キヤ) 十一面観音
- 𑖓 (タラーク) 虚空蔵菩薩
- 𑖔 (エ) 弥勒菩薩
- 𑖕 (カ) 地藏菩薩

𑖖 (カーン) 𑖖𑖖 (カーンマン) 不動明王

- 𑖗𑖗𑖗𑖗 (キヤ、カ、ラ、バ、ア) 五大の種子、空風火水地 (又、大日直言の一種)
- 𑖗𑖗𑖗𑖗𑖗 (ア、ビ、ラ、ウーン、ケン) 胎藏界大日如来の直言
- 𑖗𑖗𑖗𑖗𑖗𑖗 (ア宝幢、ア一開敷華王、アン無量寿、アク天鼓雷音) 胎藏界四仏
- 𑖗𑖗𑖗𑖗𑖗𑖗𑖗 (ウーン阿闍、タラーク宝生、キリク弥陀、アク不空成就) 金剛界四仏